

2018年8月21日

防衛大臣 小野寺 五典 殿

要 望 書

日本共産党滋賀県委員会 委員長 石黒 良治
同国民運動本部長 佐藤 耕平
日本共産党滋賀県地方議員団
団長・滋賀県議会議員 節木三千代

政府におかれましては、国民の暮らしと福祉を守るために、ご努力いただいていることに敬意を表します。下記の内容について、ぜひ実現していただきませうよう強く要望します。

記

1. 2013年9月16日に、陸上自衛隊饗庭野演習場で米海兵隊の垂直離着陸機MVオスプレイを使った国内初の日米合同演習が行われた。県や高島市の要請を無視して、市役所や駅の上空を飛行するなど、米軍との「戦争訓練」が優先された。2019年1月～3月には、同演習場で再び日米合同演習が行われようとしており、危険なオスプレイによる軍事訓練も想定されている。県民の生命や安全を守るため、オスプレイの飛来は認められず、日米合同訓練は中止すること。
2. 陸上自衛隊八尾駐屯地が、3月18日に飛行中のヘリコプターUH1から金属製の部品2個が落下、滋賀県内で落とす可能性もあると指摘されている。陸自ヘリについては、昨年の政府要望の際、「最低航空法等の規定を厳守しつつ、市街地上空は極力避けることを徹底したい」と回答されたが、実際はその後、大津市内では市営住宅や学校の上空を飛行しているのが確認されている。市民の安全と平穏な暮らしを守るため、市街地上空を飛行しないよう再度徹底すること。また介護施設や病院が近隣にある陸上自衛隊大津駐屯地のヘリ離発着訓練は中止されたい。

以上